

数学I演習 第6回 2007年6月19日配布

担当 平地健吾, TA 三角 淳

演習問題は <http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~hirachi/courses/sugaku-I-2007/> からダウンロードできます。講義メモも載せています。

以下の問題をできる範囲で解き、6月26日13時までにアドミニストレーション棟のレポート提出ボックスに提出すること。

例題 $f(x)$ を $(-1, 1)$ で定義された C^n 関数とする。 $f(x) = \sum_{j=0}^{n-1} a_j x^j + O(x^n)$ のとき $F(x) = \int_0^x f(y) dy$ の $x=0$ での $n+1$ 次までの Taylor 展開は

$$F(x) = \sum_{j=0}^{n-1} \frac{1}{j+1} a_j x^{j+1} + O(x^{n+1})$$

である。(例 $(\tan^{-1} x)' = (1+x^2)^{-1}$ を用いて $\tan^{-1} x$ の Taylor 展開を求める)

[1] 漸近解析を利用して以下の関数の原点における Taylor 展開を求めよ。

(i) $e^x \sqrt{1-x}$ (x^3 の項まで)

(ii) $\sqrt{\cos x}$ (x^4 の項まで)

[2] 次の関数の原点における 10 次の微分係数 $f^{(10)}(0)$ を求めよ。

$$f(x) = \log \frac{1+x^2}{1-x^2}$$

[3] f を $(0, \infty)$ で微分可能な関数とする。ある正の実数 c が存在して、任意の実数 $x \in (0, \infty)$ に対して、 $|f'(x)| \geq c$ を満たすならば、 $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty$ であるかまたは $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = -\infty$ であることを示せ。

[4] $f(x)$ は (a, b) で連続かつ $(a, c) \cup (c, b)$ において微分可能とする。 $\lim_{x \rightarrow c} f'(x)$ が存在すれば f は c においても微分可能であることを示せ。